

平成 25 年度  
第 4 回 北広島市子どもの権利推進委員会議事録

---

【日時】 平成 26 年 2 月 19 日（水）18 時 30 分～19 時 45 分

【場所】 北広島市役所本庁舎 2 階会議室

【出席者】

◇子どもの権利推進委員会委員

福与副会長、只石委員、斉藤委員、大西委員、中川委員、杉村委員

◇事務局

徳村保健福祉部次長、仲野児童家庭課長、富田児童家庭課主査、菅児童家庭課主事

【欠席者】

◇子どもの権利推進委員会委員

渡辺会長、堀委員、新見委員、矢崎委員

【傍聴者】 3 名

○副会長           これより、第 4 回北広島市子どもの権利推進委員会を開催します。本日は前回に引き続き、権利体系ごとの施策の中の「守り、守られる権利」について審議します。事務局から説明をお願いします。

○事務局           それでは説明させていただきます。  
今回は 4 つの権利の中の 2 つ目となる「守り、守られる権利」について審議していただきますが、前回審議していただいた 1 つ目の権利「安心して生きられる権利」に関するご意見等を反映させた資料がありますので、そちらをご覧ください。

（資料に沿って説明）

○副会長           ありがとうございます。事務局の説明について、ご質問等ありませんでしょうか。  
A 委員、どうぞ。

平成 25 年度  
第 4 回 北広島市子どもの権利推進委員会議事録

---

○A 委員 「危険から身を守られること」の中に交通安全と非行についての施策があります。北広島市は割と不審者が少ない町だと感じていますが、これから子どもたちの安全を守る上で、不審者対策や関係機関との連携が必要なのではないかと思います。本州でも連れ去り事件等が頻繁に報道されていますので、やはり施策に組み入れた方がいいと感じています。

○副会長 事務局、お願いします。

○事務局 当市では教育委員会青少年課が不審者情報のメールサービスを実施しています。また、学校を通じて児童センター等にも情報提供があります。今回のご意見についてはどのように反映させることができるかどうか、原課と協議したいと思います。

○副会長 他にございますか。  
それではB委員、お願いします。

○B 委員 前回の委員会でC委員が挙げていたCAPプログラムについてですが、これは子どもが自らの力を引き出させる、もしくは再認識させるためのプログラムで、権利についても分かりやすく説明しているものです。対象が幼児から小中学生まで幅広くありますので、「権利の侵害から逃れられ、権利の侵害を受けた時に支援や救済を求めること」に是非加えていただきたいと思います。また、「危険から身を守られること」にも十分値する内容だと思いますので、お考えいただければと思います。

次に、救済委員の相談が延べ14件あったということでしたが、その相談は相談員の対応で解決できたものなのか、それとも救済委員会まで持ち上がったものなのかをお聞かせ願います。

○副会長 事務局、お願いします。

○事務局 CAPプログラムについては、所管が学校教育課かと思われますので、どのような形で反映させることができるかを協議したいと思います。  
それから、相談案件については、救済委員1名が必ず週1回来庁しています。その来庁日に相談の内容を報告し、助言等を仰いでいるところです。1回で相談が終わるということはありませんので、次回の相談時にその助言等を反映させた形で対話したり、必要な情報を提供したりしています。

平成 25 年度  
第 4 回 北広島市子どもの権利推進委員会議事録

---

- 副会長            よろしいでしょうか。他にございますか。  
                          それではD委員、お願いします。
- D委員            「危険から身を守られること」についてですが、地震等の防災に関する  
                          ことを加えるのはいかがでしょうか。
- 副会長            事務局、お願いします。
- 事務局            恐らく、危機管理課の担当になると思いますので、協議の上で対応させ  
                          ていただきたいと思います。
- 副会長            他にございますか。  
                          ないようなので、次回の開催予定について事務局からお願いします。
- 事務局            それでは、ご案内させていただきます。  
                          次回の開催時期はこれから年度末、年度初めと立て込んだ時期に差し掛  
                          かるため、まだ決まっていません。3月から4月までの間でなるべく早い時  
                          期に開催したいと考えていますので、次回の開催時期が決まり次第事務局  
                          から郵送でご案内します。よろしくをお願いします。
- 副会長            ありがとうございます。  
                          日程について、ご意見等ありませんか。
- (なし)
- 副会長            それでは、全体を通してご意見等ありませんか。
- E委員            発言してもよろしいでしょうか。
- 副会長            はい、お願いします。

平成 25 年度  
第 4 回 北広島市子どもの権利推進委員会議事録

---

- E 委員            前回のテーマに関することですが、一点申し上げます。
- 「安心して生きる権利」の中にある「健康に配慮され、適切な医療を受けられること」について、予防接種に関することですが、現在は日本国内において様々な予防接種が行われております。しかし、直接的な原因が究明されるには至っていませんが、その副作用が発生しており、それに関する内容の配布物が教育現場に届いているのも事実です。予防接種が悪いと言うわけではありませんが、これらのことについては医学的な水準も含め、慎重な対応を私の立場からお願いしたいと思います。
- 実は過日、専門機関から調査及びパンフレットの配布の依頼がありました。それについては対応させていただきましたが、市役所や教育委員会、学校から配布されるものの重みを考えていただきたいと思います。事故の現場ではある配布物を配布したことにかかわって、どのような説明をしたかということがやり取りされています。そのやり取りの中身は「言った」、「言わない」、「書いてある」、「その趣旨ではない」といったようなものです。子どもの安全・安心にかかわることですので、是非とも慎重な取り扱いをお願いしたいということを真摯に受け止めていただければありがたいです。どうぞ、よろしくお願いいたします。
- 副会長            それでは、事務局からお願いします。
- 事務局            関係課に内容を確認し、対応させていただきたいと思います。
- 副会長            他にありませんか。  
                      B 委員、お願いします。
- B 委員            直接今日のテーマにかかわることではありませんが、早急にやらなければいけないことは子どもの権利の認知度を上げていくことだと思えます。実際に調査していないので何とも言えないところだと思えますが、知っている方は恐らく少ないと思います。相談カードの配布の後にすぐメール相談があったようですが、一回きりではなく、何かの機会にもっと PR し、啓発していくべきと思うのですが、それについて何か計画していることがあれば教えていただきたいと思えます。
- 副会長            事務局、お願いします。

平成 25 年度  
第 4 回 北広島市子どもの権利推進委員会議事録

---

○事務局            まずはイメージキャラクターの募集を考えています。子どもたちに考えてもらったキャラクターを相談カード等に反映させていきたいと思っています。

                         また、今年度は校長会、研修会の中で紹介させていただいたこともありましたが、子どもの権利救済委員から出前講座等で説明したいというご意見もいただいていますので、来年度はそういったことも含めて対応を考えていきたいと思います。

○副会長            よろしいでしょうか。それでは、他にありませんか。  
                         E委員、どうぞ。

○E委員            校長会では子どもの権利の今の動きを逐一報告しているところです。先ほどB委員がおっしゃったように認知度を高めることの他に、実効性を高めること、できればこの条例があってもなくても子どもが健やかに育っていくことができること、そのような体制を作っていきたいと考えています。教育現場でも十分に認識を持って取り扱っていきたいと思いますので、この場ですがご紹介させていただきました。

○副会長            ありがとうございます。  
                         それではB委員、お願いします。

○B委員            これからの予定として、子どもの権利月間でのPR活動や、子どもの権利の日を制定して何かを行うといったようなことは決まっていますか。

○副会長            事務局、お願いします。

○事務局            来年度の予算で考えていることとして、現在配布しているチラシのリニューアルがあります。

                         他には先ほど紹介させていただいたキャラクター募集について、採用になったキャラクターをデザインした子どもには賞品を差し上げることになりますし、当然、広報紙等への掲載で紹介していくことにはなると考えています。

                         また、前回の委員会で意識調査についてご提案がありましたので、現在は検討を進めているところです。

平成 25 年度  
第 4 回 北広島市子どもの権利推進委員会議事録

---

○事務局            推進計画は平成 27 年度から動き始めることとなりますが、先んじて取り組めるものについては随時進めていきたいと考えています。そういったことも含めて広く意見をいただき、平成 27 年度の予算に反映させることができるものは反映していくという動きになると思いますので、よろしくお願いいたします。

○副会長            ありがとうございます。  
                         校長会でも子どもの権利の認知度を上げるために尽力していただいているということでした。これからもよろしくお願いいたします。  
                         他にご意見等ございませんか。

(なし)

                         それでは、これで第 4 回子どもの権利推進委員会を終了します。お疲れ様でした。